

柴田町立槻木小学校(科学クラブ) 「ものづくり体験」

○市町名 柴田町

○学校名 柴田町立槻木小学校

○期 日 令和4年9月7日(水)

○内 容

- ・クラブ活動(科学クラブ)
- ・「キャリア教育プログラム『ものづくり体験編』」
- ・コマ作り体験で企業との交流をとおり、地元企業の技術力の高さを理解し、ものづくりへの興味・関心を喚起する。

○講 師

株式会社 岩沼精工

代表取締役社長 千葉 厚治 氏



指導補助

株式会社 ヒキチ

取締役社長 熊谷 裕一 氏

イケダ工機 株式会社

代表取締役社長 池田 広史 氏



○児童の声

「モノ」がどのように作られるのかについて、一から工程を教えてもらい、とても勉強になりました。コマ作りも楽しかったし、普段見ているものの見方も変わりました。楽しいコマ作り体験をさせていただきありがとうございました。

(6年1組 平間 勇多さん)



コマを作るには、デザインや製造、協力企業を探すところから、販売、売れ行きをチェックするところまで大変だなと思いましたが、面白いなとも思いました。コマ作りは、とても楽しかったです。

(5年1組 菊地 柊さん)

100キロの力をかけないと金属がくっつかないと聞いたときはびっくりしました。でも、機械を使ったらすぐはまったので、また驚きました。自分で作ったコマが回ったのでうれしかったです。

(5年2組 佐藤 春樹さん)



コマの大会があると聞いて、どんなコマがあるのかわくわくしました。体験の時に見せてもらったコマは、ドラえもんのとけコプターのようなコマでびっくりしました。

(5年1組 高森 日菜さん)



私は作ったコマが長い時間回って、とてもすごいなと思いました。また、どうしたらこんなに長く回るようになるのだろうと思いました。コマを作るのはとても楽しかったのでまた作りたいです。

(5年1組 酒井 杏珠さん)

○講師から

「将来の職業を考える選択肢の中に『ものづくり』に関わる仕事を！！」こんな想いをずっと抱いておりました。

小学校で「ものづくり体験」ができれば、子どもたちの将来の選択肢が大きく広がると思い、この授業を実施して、子どもたちに「驚き」と「気付き」を提供しています。

自分たちでも「楽しい」ことを作れるということを実感したり、さらに身の回りにある物がどのように作られたのか考えてみたりすることが、今の子どもたちに必要なことだと、授業をする度に感じています。

株式会社 岩沼精工

代表取締役社長 千葉 厚治 氏



○担当の先生から

普段できない体験をさせていただいたので、児童も大変喜んでおりました。児童の興味、関心、意欲が引き出され、柴田町の主産業でもある工業について、体験しながら主体的に学ぶ姿が印象的でした。



○教育事務所から

地域の企業(プロ)の方から直接指導を受け、「本物」の素材や道具を使って作る自分だけのコマは、世界に一つだけの宝物のようでした。講師の話真剣に聞き入る目、ドキドキしながら製造工程を体験する様子、自分の手で完成させたコマが勢い良く回ったときの喜びなど、多くの場面で「ものづくり」の楽しさや魅力を味わうことができました。「将来、私も『ものづくり』の仕事をしてみたい」「私はデザインを考えたい」といった声も聞こえてきました。自分の将来に対して地域の大人の姿をとおして主体的に考え、夢や希望を抱くことができた、素晴らしいキャリア教育の取組でした。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)